

和 6 年 度 第 7 回 美 郷 町 教 育 委 員 会 議 事 録

日 時 令和 6 年 1 0 月 2 8 日 ( 月 )

10 時 00 分 ~ 10 時 46 分

場 所 役 場 本 庁 舎 3 F 会 議 室

〈出席者〉 阿川教育長、大草委員、兒島委員、梅原委員、岡先委員  
教育委員会事務局参加：旭林教育課長、仲田・石原（議事録作成：中村）

教育課長 それでは、準備が整いましたので、教育長、よろしくお願いします。

教育長 みなさん、おはようございます。

委員全員 おはようございます。

教育長 だんだんと色づいて来るのが、はっきりとわかるような、三瓶さんの方ですけど、先週 1 回雲海が出て、良いなと思ったら、やっぱり暖かいんでしょうかね。

大草委員 でしょうね。

教育長 ちょっと、出てこないですね。逆に、台風の進路、ちょっと気になるところではございますが、週末、あまり影響ないといいなと思っております。一昨日は、己斐公民館まつりに行ってきました。己斐公民館、今年で 4 9 年ぐらいいって言ってたかな。新しいのになと思いましたけど、新しいところは、建設中でした。己斐交流で、子どもたちも来てて、なかなか、私もコロナで行けなかったんですけど、大賑わいで、良い、まつりでした。偶然に、川とともに歩んだ 5 0 年、邑智町閉庁記念誌っていうのに、昭和 6 2 年、己斐子ども交流開催、ここに梅原さん、名前が。

梅原委員 そうなんですよ。

教育長 やっぱ、ご存知でしたかね。偶然、見つけたんですよ。

梅原委員 山田さんと同じ地域で、同じ子ども会だったんですよ。

兒島委員 そうなんです。

梅原委員 うちの子どもと山田さんの子どもが、同級生とかね、縁があってね。みんな仕事もするんだけど、飲んだり食ったりばかりしたんだけど、まさか彼が市議員になると思ってなかったから、あれよあれよという間に、市議員になっちゃって、議長までやっちゃったんだけど、偉いさんなんで、もう

最近は雲の上の人になっちゃって、遠くから見てますよ。

大草委員 己斐公民館って、どの辺りにあるんですか。

梅原委員 己斐駅の真裏ぐらいですね。

大草委員 そうですか。

梅原委員 神社の下、旭山神社の下ですね。

大草委員 実は、私、己斐小学校なんです。

梅原委員 おっ。

教育長 己斐小、己斐中。

大草委員 私は、己斐小で、あの頃は己斐がそんなに多くなかったんですよ。庚午中でちょっと不良グループがいるような学校でした。

梅原委員 悪い子がおったね。開発されたよね。

大草委員 己斐は、団地が増えたから、2つぐらい小学校も増えたんじゃないかな。

梅原委員 増えたよね。

教育長 偶然、見てみたらで、こんなに繋がるとは思わなかったですけど。

教育課長 兒島委員、言うなら今がチャンス。

兒島委員 専門学校時代に、庚午に住んでました。

大草委員 そうなんですね。庚午中学校の近く。

兒島委員 中学校は、わからないですけど庚午に住んでました。

教育長 狭い道でね、入り込んだら、両サイド、こんだけしかなくてね。

兒島委員 己斐の方は、狭いですよね。

教育長 昨日は、大和中の文化祭で、神楽『葛城山』、少ない人数の中で、とっても良かったです。

梅原委員 午前中しか、行けなかったんですけどね。

教育長 ありがとうございます。今度、チャリティショーに出るっていう話ですよ  
ね。

児島委員      そうです。

大草委員      その時、見ましょう。

教育長       前置きが、長くなりましたが、今日は、第7回の教育委員会でございます。  
会議録署名委員さんは、児島委員さんと大草委員さんでお願いいたします。

両委員       はい。

教育長       会期は、今日1日で、よろしいでございましょうか。

委員全員     はい。

教育長       会議録ですが、いかがだったでしょうか。

（誤字脱字等4か所修正）

教育長       ありがとうございました。

そうしますと、4番目教育長、私の諸報告でございますが、印刷物は、ちょっと付け加えたりしてますので、ご覧ください。

県の市町村教育委員会連合会の研修会が、出雲でございまして、私、出席をしてきました。内容は2点ありまして、今井むつみ氏の講演『達人テスト』という講演でしたけど、県の学力テストを今年度、最後にして、こっちのテストの方に切り替えていくということだと思うんですけども、達人テストについては、また後程、詳しく、いろんな資料で説明させていただきます。今日はそういうテストについての教授さんの話で、非常に難しくて、理解するのに苦労しました。そのあとのグループ討議、これが、メインだったと思いますけど、市町村の課題について、グループ討議がございまして、私は、西ノ島、松江市、出雲市、益田市と、5人でやりました。全部で14グループ、たくさん、お出かけでしたけども、その中で、自己紹介があり、雑談も結構あって、非常に盛り上がりましたけども、益田市さんや松江市さん、文化財、柿本人麻呂や小泉八雲とかですか。齋藤茂吉の話も、もちろん出て、美郷にもその縁で行ったこともあるとかというような話もありました。それから、メディア、学力に関わってメディア。どこの市町も非常に気にしているということとか、西ノ島は、調理員不足で、委員会の事務局からも応援に行ってるという話をされました。なんせ、西ノ島教育委員会事務局が4人しかいないということで、とっても忙しいというような話もしたりしました。いろいろ非常に皆、課題とか大きいテーマは、ございませでしたけども、いろいろと悩んでおられることは同じだなというふうに感じました。

それから、三市三町教育長会というのが、第2回目ですけど、ありまして、

これは、今後の人事異動にかかる作業がいよいよスタートするということ  
でございます。毎回、言うんですけども、小学校の教頭先生が不足してい  
ると、とにかく受験者が少ないっていう、人気がないというか、そういうとこ  
なんだろうかと、あえて管理職で苦勞したくないっていうんでしょうかね。  
まあ、魅力を感じないっていうような、いろんな話をされました。非常に大  
変で、中学校の教頭先生で、小学校免許を持っている人は、こっちに回され  
ると。今も数名いらっしゃいますけども、教頭になって、初めて小学校を経  
験をするっていう先生もいらっしゃいます。ここは、クリアされないよう  
です。講師の確保という話もありまして、広島文教大学がありますけども、そ  
この学生が、こちらへ来て、浜田管内で教師体験をするっていう、講義があ  
るようでして、もちろん美郷も、ウェルカムだったんですけど、遠いから、  
ちょっと美郷・川本は、行けないと邑南でストップされちゃいまして、浜田  
と邑南で60人ぐらいだと思うんですけども、そこから、もう島根の教師を  
何て言うんすかね、準備を進めていくっていくような意味もございました。  
広島文教から、結構、先生でこっちの人がいますので、何とか、今後、美郷  
の方に来ていただきたいなと思っているところです。

4番目、その他、中央教育審議会の答申で、9月30日に文科省が通知を県  
まで、まだ、県までだと思うんですけども、新聞記事をタブレットに載せて  
おりましたけれども、いろいろ答申が行われてきたんですけども、その私の  
レジュメのちょっと気になったのが6番目の教員の健康確保のために11時  
間の勤務間インターバルを導入するという、これ初めて聞くなあと思いまし  
たけども、これ、具体的にどうなるのかなという気がしております。

岡先委員 福祉業界では、5年ぐらい前からありますね。

教育長 あるんですか。簡単なことではないんですよ、きっと。

岡先委員 11時間超えて仕事をしちゃいけないということで、夜、例えば、9時に  
出たら、それから11時間後でないと出勤してはいけないとか。

兒島委員 夜勤とかですか。

岡先委員 夜間、緊急で出た場合に、時間外をした時には、それから11時間あけて出  
勤しなさいという。

教育長 そういう時って、困りますよね。

岡先委員 はい。

教育長 教員の場合は、そうはいかないと思うんですけど、そこまでして、早く帰る

というところです。もう1つは、8番目の長時間勤務を減らす教育委員会の取り組み状況調査の可視化ということで、報告書を出せという。これもまたいろんな数字を出さんといけなくなるかなと。いろんなことが、具体的にこう進められてくると思います。

大草委員 授業中以外でも、忙しそうですね。猪鹿蝶給食の、あのときに、食事もできんのかと。バタバタと先生が、給食の時間にもね、いろいろ書き物とかされて、子どもたちと一緒に、ご飯もゆっくり食べられないのかと。ああいうのも、やっぱりね、一緒に食べるっていうことはね、びっくりしました。

教育長 そうですね。昔からそうですから。

大草委員 変えていかないといけないのかなと思いました。

教育長 ゆっくりご飯をおいしいので、食べていただきたいなと思います。

大草委員 子どもたちと話しながら。

兒島委員 そうですね。

教育長 また、怒らないといけんし、出るときも指導しないとイケないしね。指導ではないですけどね。

大草委員 怒るのは、それでいいんですけど、やっぱり子どもたちと、一緒にというのが良いと。この間、そういうふうに思いました。

教育長 はい。町としてもいろいろ、この辺は、ゆとりがないといけないと思っております。部活動改革で、これについても記事が出てましたけども、もう移行というイメージが悪いので、地域展開という言葉にするそうです。最後は、『いや』という谷川俊太郎さんの詩を配布しました。何十年ぶりに読んだのか、ちょっと目に入ったので、皆さんに。ご紹介しておいて、大人たちもですね、我慢、そこには書きましたけども『ここは、我慢のしどころと我慢している大人たちに、自省を促す子どもの言葉』なんていう、この『いや』という詩集を紹介してありましたけども、もう少し早く出会えば良かったなと思いました。ということで、私の報告は以上とさせていただきます。

そうしますと、議題に移りますが、今日は議題は、ございませんので、6番目、その他報告事項。1件、お願いいたします。

教育課長 それでは、報告事項ホルダーの方をお開きください。

報告①「令和6年度第2回連合自治会長会議について」(資料により説明)

報告②「美郷町江の川カヌースプリント競技場竣工記念大会について」（資料により説明）

以上が報告事項です。

教育長 何かご質問等ありましたら。

児島医院 今、ボランティアの募集をしておられますよね。日曜日までですかね。もう必要ないですかね。充足していますか。

教育課長 今回、来年のインターハイのプレ大会という要素と、竣工記念大会という2つの要素があります。インターハイのプレ大会の要素を兼ねていますので、実は、中央高校の1年生にも11月2日、午前中だけなんですけど、カヌー競技、カヌー大会に実際、触れていただくということで、80名程度の生徒さんにおいでいただいて、来年に備えた体験していただくこととしています。

今後、町としては、大学生を中心とした、冠大会を継続して開催をしていくこととしています。その時には、高体連さんや県カヌー協会さんにもご協力いただければ、大会運営や競技運営がスムーズにいくんですが、やはりそこには、地元の方のボランティアも期待をしています。1人でも多くの方に、いろんな関わり方をしていただければ、町としては嬉しく思っています。なので、ボランティアで、参加いただける方、大歓迎です。お父さんも大歓迎ですよ。

児島委員 うちの子が「あんまり知らない人が来られても、困るけん。人は、いっぱいおるけど、検艇とか、わからん人が来ると、邪魔でやれんじゃないかな。」って言うから、そうなんかって。

大草委員 そうか、そうか。

教育課長 その部分に関して言えば、うちの動員組はもしかしたら、あまりお役に立てないかもしれません。

児島委員 でも、行ってみないとわからないです。例えば、当日、行こうと思ったら、そのまま、もうあそこに向かっていけば、良いんですか。

梅原委員 現地集合って、何か書いてあったよ。

児島委員 結構、なんかあのスペースで大丈夫かなって思ったりですけどね。。

岡先委員 例えば、ボランティアの内容っていうのは、どんなことがありますか。

教育課長 限定させていただいて、例えばスマホとかで大会の様子を写真だとか動画で

撮影をして、それをSNS等で投稿してもらったり、写真や動画データを大会本部の方にいただいたり、そういった広報的な役割と、競技役員で大変なのが、検艇係さんでして、艇を運んでもらったり。

児島委員 競技が終わった後に、不正がないかどうかを調べる。

教育課長 全部の艇じゃないんですけど、抽出して、はい、じゃあ、1番と4番と7番は、検艇ですって言われると、レースが終わって、まず艇を拭いて、水分を取って、それを測りの上にのつけて、規格内に収まっているかっていうのを確認をして、不正がないってということで、そういう作業が、かなり、労力的には、必要になってきまして、なのでレースが終わって、かまっちゃいけないんですよ。

児島委員 良くわかってないんですけど、多分そうだと思います。

教育課長 検艇係が、持っていくんだと思うんですよ。選手が、艇乗り場、船着き場に着いて、降りたらその艇を、係が引き上げるというか、抱えて検艇場所まで持って行ってという動線になるので、検艇係は、実はちょっと、内容がハードで、そのお手伝いをお願いできればということで募集してます。

大草委員 そんな不正があるんですか。

児島委員 あるかもしれないですね。何が良いか、わからんですけどね。

大草委員 軽い方が良いんですか。

児島委員 いや、何がいいのかわからんです。全然わかんないですけどね。

梅原委員 せっかく、木を切ってもらったんだけど、ガードレールが、今度は邪魔になるんでね。なかったら、もっときれいに見えると思うんだけど、2回ぐらい走ったんだけど。

児島委員 ガードレールは、取れんですね。

教育課長 確かに、見えないですよ。ガードレールを取ると、10台ぐらい下に落ちますよ。

梅原委員 建物は、きれいに見えますよね。

大草委員 木がすごかったですもんね。

教育課長 今回、もう一つの目玉は、ドローン撮影をこの大会で予定をしまして、これよりも大きい104インチタイプのモニターを2台ばかり設置をして、よ

り臨場感のある映像お届けできるようにとは考えてます。

梅原委員 画面は、どこに置くんですか。

教育課長 今ですね、大テントを設置するんですが、その大テントの中に1台。イメージ的にはステージがありますが、ステージの上流側の側面に1台設置しようと思ってます。それはなぜかっていうと、スタートからゴールまで、目視で見れるんですけど、やっぱり自分の目の前を過ぎてしまうと、後ろ姿での応援になってしまうので、ちょうど視線を移すとモニターもあって、選手が、最後頑張っている姿が映像でも見れる状況にしています。

兒島委員 それはいいですね。

梅原委員 ドローンは、いいですね。

岡先委員 「国道に車を止めるな。」と言っても、止めますよね。それが、心配です。

兒島委員 道路がねえ。

教育課長 あともう1つだけ、コマーシャルしていいですか。  
瀬古忠永さんをこの大会、解説でお招きをしています。実況担当の方が1人と、解説をお2人配置をします。場内でのアナウンス、解説付きでドローン映像も交えながらっていう、ちょっとなぎやかな大会になると思います。

大草委員 何か、いい感じですね。

岡先委員 行ってみようかしら。

教育長 はい。では、今回は、11月の26日、火曜日ですかね。定刻1時30分でお願いをします。

では、第7回教育委員会の方は、以上で閉じたいと思います。ありがとうございました。

委員全員 ありがとうございました。

署名者 委員 大草 彩子

委 員

兒島智和

記録者

中村 紀子